

# 省エネルギー・再生可能エネルギーに関する区民及び事業者意識調査

## 調査報告書（概要版）

本調査は区民が省エネルギー・再生可能エネルギーに対して持っている意識、実践している取組、区の施策に対して何を期待しているのか等を明らかにし、今後の区の地球温暖化防止対策を推進していくうえの資料とするために実施した。

### 調査の概要

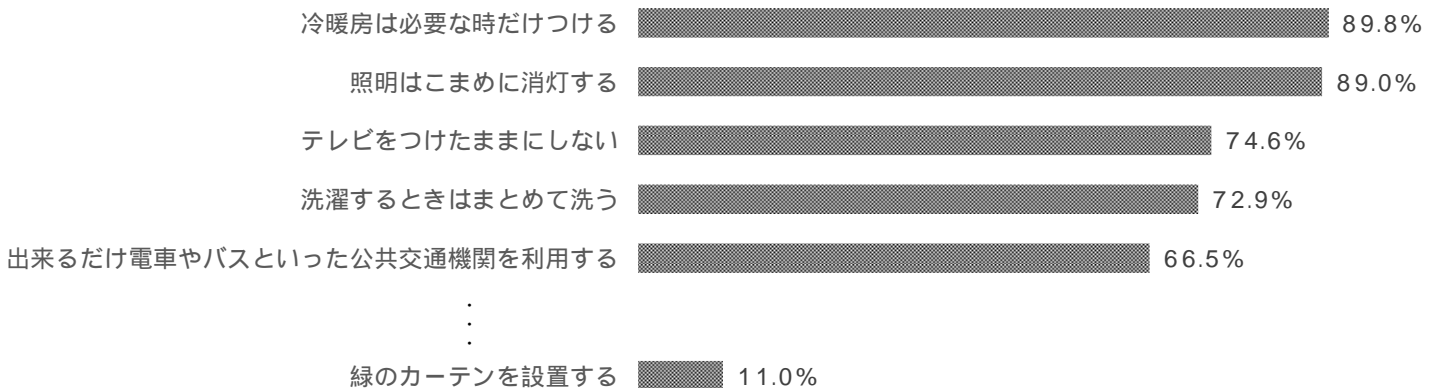
|      |   |
|------|---|
| 地域   | 墨田区全域   |
| 対象   | 20歳代から80歳代の各年代層別に各150人（80歳代は100人）、住民基本台帳から抽出<br>すみだ企業ガイドに登録されている事業所から抽出 |
| 調査件数 | 区民1,000人、事業所300社  |
| 調査方法 | 調査票の郵送による配布及び回収   |
| 調査時期 | 平成26年8月29日（金）～9月30日（火）  |
| 回収数  | 区民236件（回収率23.6%）<br>事業者79件（回収率26.3%）                                    |

## 区民向け調査結果

### ご家庭で実践されている省エネ・節電の取組

電気製品のこまめなオン・オフ、洗濯もののまとめ洗い、公共交通機関の利用といった点で、多くの区民が省エネ・節電の取組を実践している。最も取組の割合が低かったのが、緑のカーテンの設置だった。

あなたのご家庭で実践されている省エネ・節電の取組を選んでください。（複数回答）

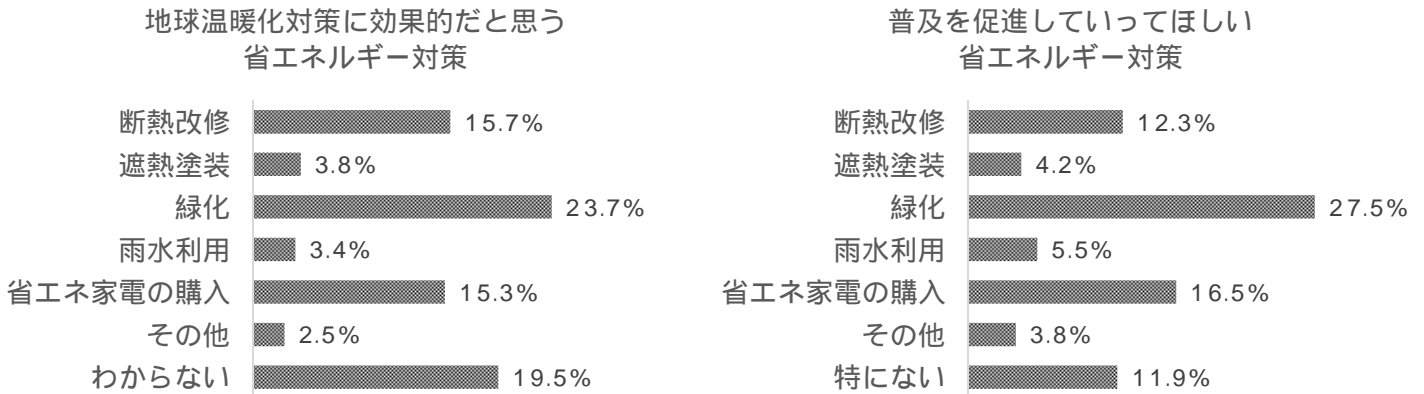


## 省エネルギー対策について

地球温暖化対策に効果的だと思う省エネルギー対策として、屋上や壁面の緑化をあげる区民が多く、普及を促進して行ってほしい省エネルギー対策でも一番目に多かった。

次の中から最も温暖化対策に効果的だと思う省エネルギー対策を選んでください。(単数回答)

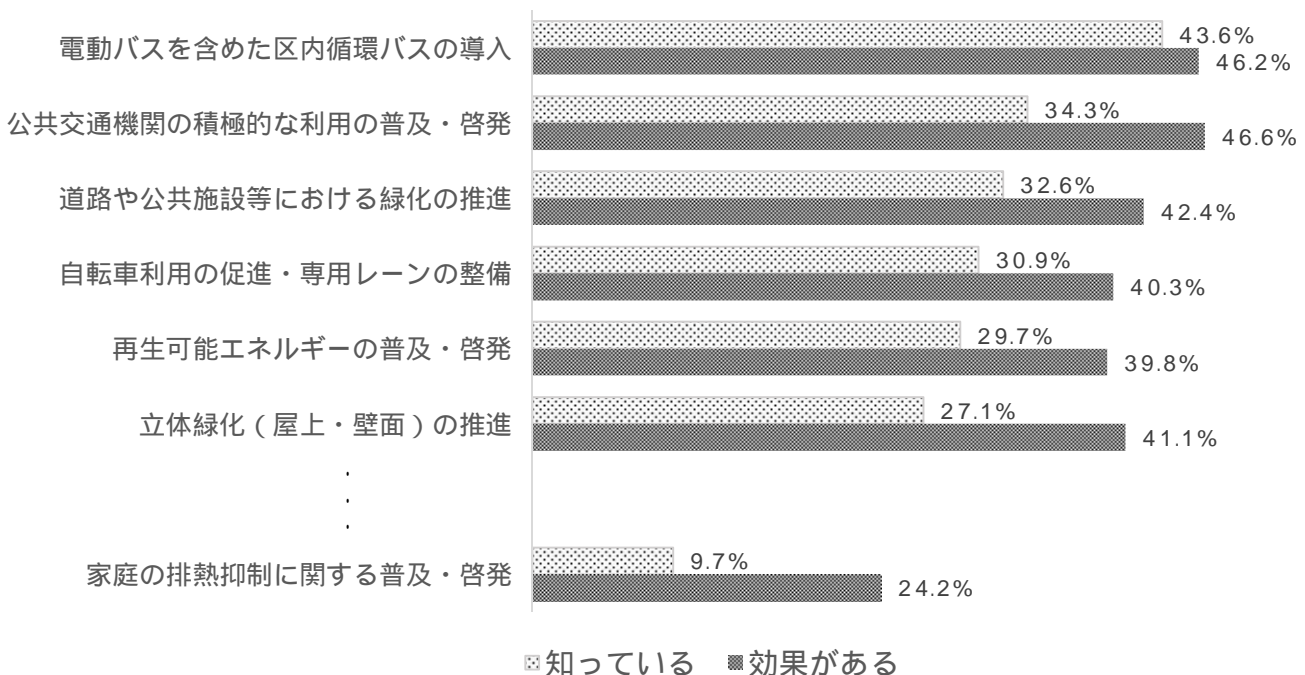
次の中から墨田区に普及を促進して行ってほしい省エネルギー対策を選んでください。(単数回答)



## 地球温暖化に対する施策について

公共交通機関や自転車の利用促進、緑化事業、再生可能エネルギーの普及・促進に対して高い認知度があり、いずれの項目でも「効果的だと思う」と考えている割合が認知度よりも高くなっている。最も認知度が低かったのが、家庭の排熱抑制に関する普及・啓発だった。

次の中から、知っている事業、地球温暖化問題に対して効果が出ていると(もしくは効果的だと)思う事業を選んでください。(複数回答)

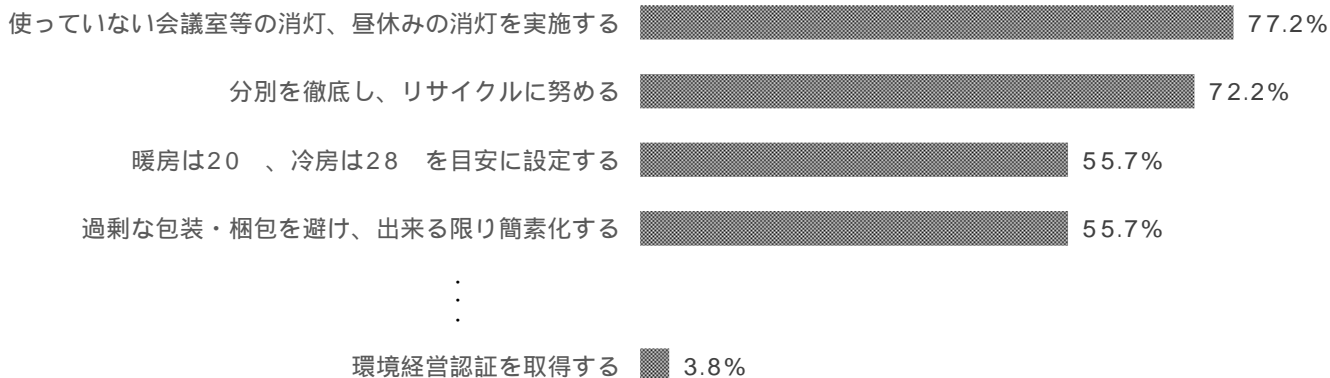


## ■事業所向け調査結果

### 事業所で実践されている省エネ・節電の取組

照明・冷暖房のこまめなオン・オフ、ごみの分別・リサイクル、過剰包装・梱包を避けるといった点で、多くの事業所が省エネ・節電の取組を実施している。最も実践されていなかった項目が、環境経営認証の取得だった。

貴事業所で実践されている省エネ・節電の取組を選んでください。(複数回答)

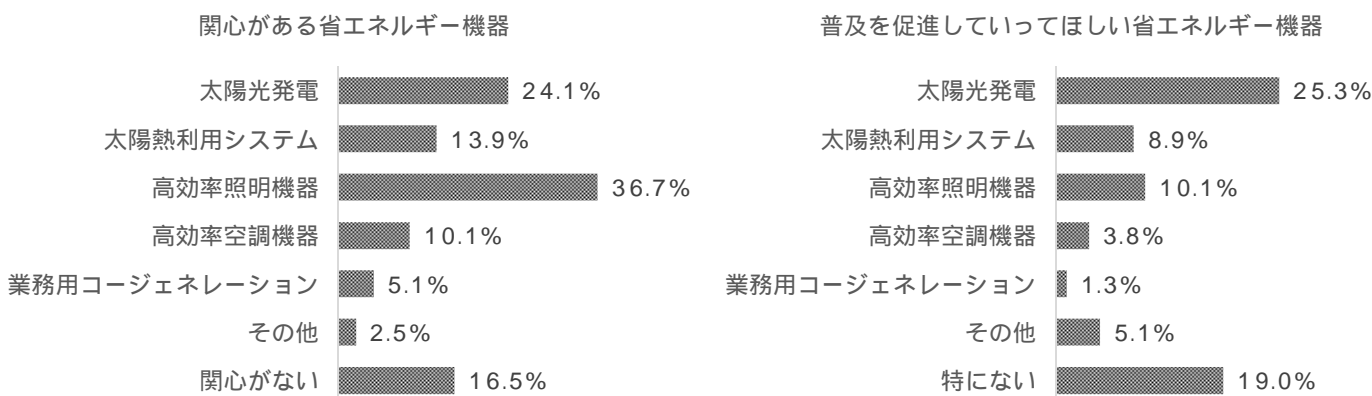


### 省エネルギー機器について

省エネルギー機器に対して関心を持っている事業者は多く、特に関心が高いのは高効率照明だが、普及を促進して欲しい機器は太陽光発電が最も多かった。関心がない事業所は、築30年以上の事業所に比較的多かった。

次の中から関心がある省エネルギー機器を選んでください。(複数回答)

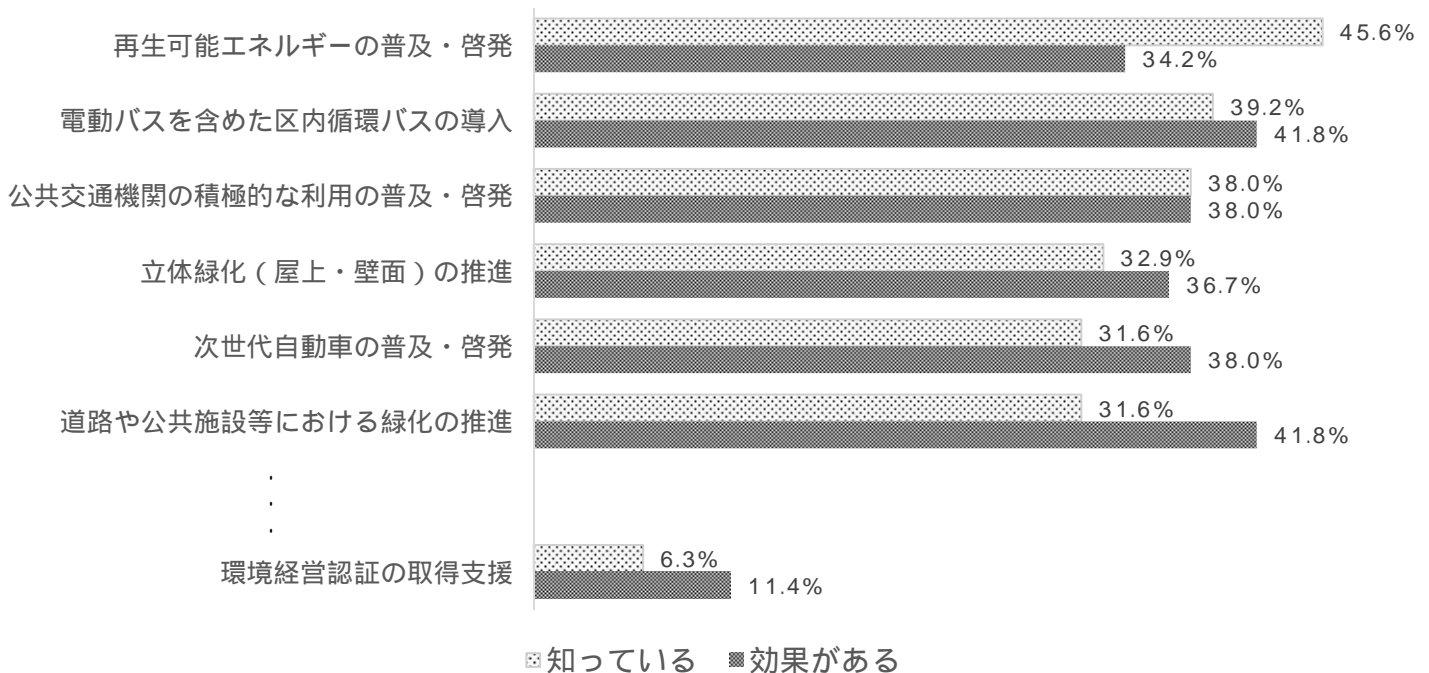
次の中から墨田区に普及を促進して欲しい省エネルギー機器を選んでください。(単数回答)



## 地球温暖化に対する施策について

再生可能エネルギーの普及・促進、公共交通機関や自転車の利用促進、緑化事業、次世代自動車の普及・啓発等に対して高い認知度がある。最も認知度の低かったのは環境経営認証の取得支援だった。

次の中から、知っている事業、地球温暖化問題に対して効果が出ていると（もしくは効果的だと）思う事業を選んでください。（複数回答）



## ■ 主な自由意見（区に求める環境施策）

- マンションで、太陽光発電、エコキュート、エネファームなどを検討したり出来るよう支援してもらいたい。
- 再開発などを行う際は、区画整理をしっかり行い、緑化を推進し、無駄なエネルギーの排出を防いでほしい。
- 自転車の違反者取り締まり、指導の強化と専用レーンの利用・増加等を強化してほしい。
- 区の施策について1つも知りませんでした。今後、新たに事業を展開するにしても、もっと区民への情報の提供が必要と考えます。
- 色々やりたいと思っけていても、どれも資金が必要でなかなか今の状態では出来ないことが多い。
- 施策の明示と施策を行う前後での変化を数値で示してほしい。どのぐらいの効果があつたのか把握できれば目標が見えてきてモチベーションが上がります。
- 観光、省エネ、防災、エコロジー、それぞれを墨田区のイメージとして一体で考え、住民も来訪者も次世代の街づくりをしていると実感できるように取り組んでいただきたい。